AGU NEWS

AOYAMA GAKUIN UNIVERSITY NEWS

2015 No.75
[2015年1月～3月号]

青山学院大学

〒150-8366 東京都渋谷区渋谷4-4-25
URL. http://www.aoyama.ac.jp/

特集
青山スポーツ
アジア大会でメダル獲得!
世界で活躍するアスリートが次に目指すもの

リケジョインタビュー Rikejo **充実した環境で夢に向かう 青学の理数系女子**

TOPICS 相模原市をはじめ、4都市と包括連携協定を締結
理工学部の松木さんがオルガン・ミュージックフェスティバルで最優秀賞を受賞
2014年度「Happy くらす作品コンクール」審査結果
青山学院創立140周年記念講演会
「宇宙からのメッセージ ～夢に向かって、諦めず挑戦～」

AGU Lecture 国際社会における法の支配

第91回 東京箱根間往復大学駅伝競走
笑顔の初優勝！

©報知新聞社

往路、復路、総合のすべてで記録を塗り替える“完全優勝”を達成。
沿道の熱い声援がランナーを後押しし、学院創立140周年に歴史的な快挙を成し遂げました！

Aoyama Gakuin since 1874

特集 AOYAMA SPORTS

アジア大会でメダル獲得! 世界で活躍 するアスリートが次に目指すもの

2014年9〜10月に開催された第17回アジア競技大会(以下アジア大会)で、教育人間科学部教育学科2年藤森安奈さんが陸上競技女子4×100mリレーで銅メダルを獲得し、学生生活課職員長谷川恒平さんがレスリング男子グレコローマンスタイル59キロ級で金メダルを獲得。その功績をたたえ、二人は青山学院創立140周年記念表彰式にて特別表彰されました。世界を舞台に実力を発揮するアスリートに、競技にかける熱い思いなどを語ってもらいました。

積み重ねた努力を一瞬にぶつける

陸上競技部(短距離ブロック)女子
藤森 安奈さん
教育人間科学部 教育学科2年

アジア大会は日本代表として400mリレーで銅メダルを獲得しました。

2013年のアジア陸上競技選手権大会で初めて日本代表に選ばれたとき、最初はただうれしいという気持ちだけでした。けれど代表の重みと責任を実感すると共に、自分が代表になっていいのかと不安になったりもしました。今は日本が勝つために戦える選手でありたいと思っています。今回のアジア大会では特別な緊張感はありませんでしたが、代表だから頑張らなきゃという思いと、いつも通りでいいんだという気持ちが入り乱れて、自分との戦いでした。次は個人種目の代表に選ばれるのが目標です。

進学の際、本学の陸上部のどこに魅力を感じましたか。また、勉強と陸上を両立させるコツはありますか?

監督が選手一人一人をきちんと見てくださり、こちらの声にも耳を傾けてくれるところです。いくつかの大学の練習にも参加させていただいた中で、私にはそんな青学の雰囲気が、合っていると感じたことが、決め手になりました。大学では、陸上だけに専念するのではなく、勉強も一生懸命やろうと最初から決めていました。そういう姿勢は、陸上にもいい影響を与えるだろうと思って。両立は大変ですが、試合で出られなかった授業のプリントをクラスの友達が取っておいてくれたり、課題を教えてくれたりと、すごく助けられています。勉強の仕方まで教えてくれるので、持つべきものは友達ですね(笑)。

陸上部では先輩、後輩とも仲がよさそうですね。

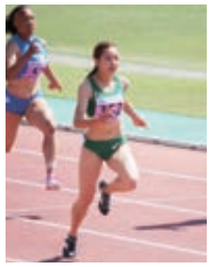
自分だけが出る試合のときでも先輩が心から応援してくれるので、いつも感激します。試合前に激励メールをくれたりすることもしょっちゅうで、なんで青学はこんなにいい人ばかりなんだろうって思います。だから私も後輩のことをよく見て、「今何を考えているのかな」と考えるようにしています。それは結果として自分の視野を広げることにもなります。それに、監督が今日はこういう練習をやると言ったとき、「○○のための練習だな」とか、監督が考えていることを考えるようにもなりました。

競技の面白さはどんなところですか?

100mは、ずっと一生懸命練習してきても、本番は10秒ちょっとで終わってしまう種目です。その中にどれだけ自分のやってきたことを出せるか、そこに難しさと面白さがあると思います。試合当日に自分の心身がベストな状態であるように調整していきますから、当日になって急に調子が悪くなるということはありません。不調のときは調整の段階からすでによくないという感覚があるので、いつもと同じ練習をするのではなく、何をしたらいいのか、自分の体と対話しながら考えます。そういえば中学生で初めて全国大会の決勝に進んだときは、「残っちゃった、もう一度緊張しなくちゃいけないんだ」と泣きました(笑)。今は緊張しないですね。年を重ねて経験を積んだ今、当時に比べたら成長できているのかなと思います。

今後の目標を教えてください。

今の目標は2016年のリオデジャネイロオリンピックに出場することです。リオで五輪を経験して、2020年の東京オリンピックで活躍するという夢に向かいたいですね。競技生活を終えた後、自分がどんな仕事をしたいかは、まだはっきり見えていません。ただ海外に行くこと、人と接することが好きなので、いつかは青年海外協力隊の一員として海外で働いてみたいという思いもあります。とはいえ、まずは卒業後も競技を続けられるよう、今後もしっかり試合で結果を出していきたいと思います。



写真提供:「青山スポーツ」

藤森さん:プロフィール
私立東京高等学校出身。2013年関東インカレ100m優勝、日本学生個人100m優勝、アジア選手権日本代表4×100mリレー第2位。2014年関東インカレ100m優勝、日本選手権100m第3位、日本学生個人100m優勝、日本インカレ100m優勝・200m第2位・4×100mリレー優勝、アジア大会日本代表 4×100mリレー第3位。100m青学記録保持者。

今の最大の目標は学生を強くすること

レスリング男子グレコローマンスタイル59キロ級
長谷川 恒平さん
大学学生生活部 学生生活課 職員

レスリング部監督
太田 浩史さん
高等部事務室 職員

レスリング部前主将 フリースタイル74キロ級
松田 健悟さん
経営学部 経営学科4年

長谷川さんは静岡の漁業会社に所属するプロ選手でしたが、今年度から職員として母校に戻ってこられました。

長谷川:日本レスリング史上初の魚屋レスラーでした(笑)。ロンドンオリンピックでは、本学の校友、教職員、保護者、在学生、すべての方々に物心両面でお世話になりました。オリンピック選手の持つエネルギーを少しでも還元できたらと、青学の職員となる道を選びました。社会と体育の教員免許も持っていますが、これは大学時代は教師を目指し、レスリングだけの人間にはなりたくないという思いから取った資格です。現在は職員、レスリング部のコーチ、そして選手という3足のわらじを履いていますが、メインは仕事です。仕事を終えてから学生の指導をして、指導をしつつ自分の練習をするという具合です。プロの頃に比べて練習時間は激減しましたが、その分マットにいない時間にいろいろ考えるようになりました。そして考えたことを限られた練習時間で実践するので、マットに立つ時間は短くとも中身は濃く充実しています。その結果、アジア大会で連覇という結果を出せました。また、これまでずっと「もっと強くなりたい」という気持ちがレスリングを続ける原動力になっていましたが、ロンドンでひと区切り付いて、今回は気負うことなく戦えたのも結果につながったと思います。

(左から太田さん、松田さん、長谷川さん)

長谷川さん:プロフィール
静岡県立焼津中央高校出身、本学文学部卒業、日本体育大学大学院修了。インターハイ優勝、国体2連覇、全日本学生選手権2連覇、全日本選抜選手権4連覇。2010年アジア競技大会グレコローマンスタイル59キロ級優勝、2011年全日本選手権優勝(5連覇)、2012年ロンドン五輪3回戦出場、2014年アジア大会グレコローマンスタイル59キロ級優勝(2連覇)。2014年最終の世界ランキング5位。

写真提供:「日本レスリング協会」

長谷川さんと長い付き合いの太田さんには、今の長谷川さんはどう見えるのでしょう。

太田:オリンピックは私も現地に行きましたが、当時に比べ「勝たなければいけない」というプレッシャーが抜け、いい形で動けているように思えます。学生を指導することがパワーになっているのかもしれません。彼がコーチになったことで、学生にも意識の変化が見られます。とりわけ下級生のモチベーションが上がりました。

松田さんは長谷川さんがコーチに就任されて何か変化はありましたか?

松田:今まで触れることがなかった技術や最先端の技を教えていただけて、レスリングスタイルの幅が広がりました。

長谷川:今のレスリング部は能力が高く、世界で活躍できる可能性を持っている学生がたくさんいます。だから「自分はここまでだろう」という限界を自分で作らず、現状に満足せず練習に励んでほしいですね。僕が考える練習メニューは、僕にとっては普通でも学生にとっては相当きついようです。楽にすることは簡単ですが、じゃあ学生たちは何のために遊ぶ時間を削って練習しているのか、何のために青学レスリング部に入ったのか、そう考えたら自ずと答えは出ます。それから今は「努力することはかっこ悪い、でも目立ちたい」という傾向がありますが、努力しなければかっこよくなれないし目立てないよ、と。

松田:自分も器用な人間ではないので、自分のスタイルを築くために人一倍練習してきました。そういう努力の大切さをレスリングから学びました。

長谷川さんの今後の目標は?

長谷川:学生を強くすることです。今は心身がとても充実していますが、それでも試合と仕事が重なれば仕事を優先します。そして試合に出るとなれば、ほかの選手のマークも厳しいので、それを跳ね返す力を備えた状態で臨む必要があります。コーチが負ける姿を学生に見せるわけにはいきませんからね。普段の練習でも、学生には決してポイントを取られないようにしていますから。リオデジャネイロオリンピックは、特に視野に入れていません。そういった個人の目標よりも学生を強くすることが、今の自分にとっては最優先です。その相乗効果で自分も強くなれればいいかなと思っています。

Rikejo Interview

特集 充実した環境で夢に向かう青学の理数系女子

国内外トップレベルの研究施設・設備の整った相模原キャンパスで学ぶ、理工学部と社会情報学部の女子学生たち。あふれる情熱と努力でそれぞれの夢に向かっています。今や企業も注目する「リケジョ」たち。何を目指し、どのように学んでいるのか聞いてみました。

Graduate School of Science and Engineering

今井 未来さん

大学院 理工学研究科 理工学専攻
マネジメントテクノロジーコース
博士前期課程1年
水山元准教授研究室所属
青山学院高等部出身

HCOMP2014（米国で開催）で発表した予測市場に関する研究の発表資料

アットホームな環境で、自分の興味を追求する意義ある学生生活が送れます。

現在は、新商品開発支援のための“予測市場”を用いた製品コンセプト評価システムを作成しています。予測市場というのは、仮想的な証券取引を通じて、多くの人の知識を適切に集約しようという概念です。実際にこの予測市場を活用して、選挙結果や映画の興行収入を予測するサイトも既に運営されていて、先進企業の意思決定ツールとして使われ始めています。

私が制作中のシステムは、予測市場で消費者が魅力的だと感じる商品はどのようなものかを推定するものです。現在は、実際にこのシステムを使ってもらうための、ウェブアプリケーションの作成に取り組んでいます。

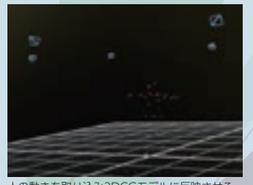
大学院に進学してからは、何度か学会に出席する機会もありました。一つの研究成果を発表するためには、先行研究の調査に始まり、システムの構築や資料の作成など、多大な労力が必要です。でも、それを乗り越えて発表できたときには、やりきった達成感もあり、その研究に興味を持ってくださる方もいて、やりがいを感じることができます。

同級生に女子は私一人という環境ですが、特に不自由は感じません。研究室のメンバーとも仲が良く、ゼミの後は先生を含めて一緒に食事をすることもあります。そうした環境を支えに、自分の興味あることを深く追求する学生生活は、きっと有意義なものになるはずです。就職活動が始まるため、研究を進めながら、具体的な将来についても考えていきたいです。

Department of Integrated Information Technology

白鳥 優莉さん

理工学部
情報テクノロジー学科4年
佐久田博司教授研究室所属
静岡県立清水南高等学校出身



人の動きを取り込み3DCGモデルに反映させる

“ものづくり”に関わる仕事がしたい。昔からの夢が、3DCGの立体視の研究に結びつきました。

昔から“ものづくり”が好きで、高校では映像制作に取り組む部活動に所属。将来的にも“ものづくり”を仕事にしたいと考えていたので、このIT時代に必要な“ものづくり”の基礎を学べる情報テクノロジー学科に進学しました。

高校と大学の部活動で行っていた映像制作の経験から、研究内容も映像に関わるものにしたいと考え、3DCGの立体視をテーマにしています。現在取り組んでいるのは、立体視による図形学習支援システムの説明手順と、それが学習プロセスに及ぼす影響について。立体視された3DCGの図形を、どのような手順で説明すれば、学習者の認識理解が高いかを調べています。

この研究で苦労したのは、立体視画面の描画の実装です。実装が完成しても、原因不明のエラーが出るなどの想定外の問題が出てきます。その度に解決方法を調べ、改良を加える。この繰り返しで理想の実装内容へ近づけます。完成まで導くのは大変な作業ですが、その分達成感は大きいですし、“世界で唯一のもの”をつくっているという喜びもあります。今後は学校の授業などで応用してみたいです。たとえば、自分がつくった3DCGのキャラクターが勉強を手伝ってくれたら、今よりもっと楽しく勉強できそうですよね。そんな、“楽しく身に付く学習方法”につながる研究ができればと思っています。

卒業後は大学院への進学を決めました。将来的には、社会になくてはならないもの、人々を楽しませるものをつくれる人を目指したいです。

進学理由は化学と生命科学の両方が学べること。多くの実験を経験する中で自分の研究テーマが見つかりました。

高校生の頃から化学と生物が大好きで、進学の時点ではどちらかに絞ることができませんでした。化学・生命科学科であれば、化学、生命科学どちらも学ぶことができるというのが、進学の決め手になりました。

化学・生命科学科では、研究室配属前までに多くの実験を経験し、実験技術の基礎を身に付けていきます。頭では理解しているつもりでも、実際に自分で手を動かしてみて初めて気づくこともたくさんあるので、こうして多くの実験に触れることは、とても大切だと思います。

現在取り組んでいる研究は、反応性スパッタリングという化学反応と真空プロセスを用いた、高機能なセラミックス薄膜の合成です。具体的に言うと、窒化ガリウム（GaN）、窒化インジウムガリウム（InGaN）の薄膜合成で、これは青色発光ダイオードに実用化されています。消費エネルギーが低いので省エネルギー技術にもつながり、太陽電池と組み合わせて発展途上国の生活の質を向上させることも期待されています。GaN、InGaNを大面積に均一成膜する方法を確立し、エネルギーを高効率化する技術に結びつけることが研究の目標です。

卒業後は大学院に進学して研究を続けます。大学院修了後は研究職に就くか、中学・高校の先生になって、理科に興味を持ってもらえるような授業をしてみたいと考えています。

Department of Chemistry and Biological Science

上條 栞さん

理工学部 化学・生命科学科4年
重里有三教授研究室所属
群馬県立前橋女子高等学校出身

実験条件の違いで異なる色のGaNが合成できる

苦手だからと諦めず、常に挑戦する気持ちを忘れないことが、自分の可能性を広げてくれました。

高校生の頃は数学が苦手で、文系学部に進むつもりでした。しかし、さまざまな分野を学んだ方が、自分の興味・関心を広げられるのでは、という思いが強くなり、文系科目でも受験できる社会情報学部を選びました。

卒業研究のテーマは「女性が東京ディズニーリゾートを好む理由」。来園者の7割が女性であることに、何か特別な理由があるのではないかと疑問を抱き、経営方針や心理学の側面から研究しています。男女の考え方や価値観の違いを知るために、これまであまり学んでこなかった心理学を使うところに、この研究の難しさを感じています。最終的にはアンケートの分析方法を複数試すことで、男女の共通点・相違点を明らかにする数値を導きだし、根拠のある論文を仕上げたいと考えています。

受験で文系を選択したときには、もう数学に触れることはないと思っていました。しかし大学に入学し、時間をおいてから数学に触れてみると、あの頃はわからなかった楽しさを見出すこともありました。苦手だからと諦めてしまうと、自分の可能性を狭めてしまうことにもなりかねません。常に挑戦する気持ちを忘れないことが、大切なんだと思います。

卒業後は地元の市役所で働くことが決まっています。大学で身に付けた情報系の知識を生かし、市の取り組みを幅広く発信することで、誰でも簡単に市政に参加できるようなシステムづくりに貢献できればと考えています。

School of Social Informatics

山田 聖奈さん

社会情報学部 社会情報学科4年
宮川裕之教授ゼミ所属
横浜共立学園高等学校出身

東京ディズニーリゾートの魅力的な点を、アンケートをもとに男女別に数値化して分析

相模原市をはじめ、4都市と包括連携協定を締結

本学は、4都市と、連携の充実・強化を図る協定を締結しました。今後も協定の中で、さまざまな取り組みを進めていく予定です。

都市名	締結日	締結内容
岡山県総社市	2014年10月14日(火)	英語特区等での包括連携協定(教育やまちづくりをはじめとする連携協力)
神奈川県大和市	2014年11月13日(木)	国際交流や多文化共生の取り組みに向けての包括連携協定
神奈川県相模原市	2014年11月18日(火)	相模原市にキャンパスをもつ5大学 (青山学院大学、麻布大学、和泉短期大学、桜美林大学、女子美術大学)との包括連携協定
埼玉県戸田市	2014年11月27日(木)	市民大学への講師派遣や共同研究等の包括連携協定

理工学部の松木さんがオルガン・ミュージックフェスティバルで最優秀賞を受賞

2014年10月18日(土)に行われた「ローランド・オルガン・ミュージックフェスティバル2014」において、理工学部物理・数理学科4年の松木大地さんが、一般部門の最優秀賞を受賞しました。松木さんに受賞の感想などを聞きました。

受賞おめでとうございます。
この結果をどう受け止めていますか?

まず、この舞台に立てたのは、たくさんの方の支えがあったからこそです。本番では、支えてくれたすべての方に感謝の気持ちを込めて演奏しました。結果発表で自分の名前が呼ばれたときは信じられず、自然と涙がこぼれました。これまで努力してきて本当に良かったと思います。

音楽の道ではなく、本学理工学部に進学した理由は?

音楽は趣味で続けたいと考えていました。応用物理に興味があり最新の設備がある青学の物理・数理学科に進みました。音楽と物理・数理学には、地道に積み上げていくという共通点があります。音楽は曲が弾けるという基礎があってはじめて、表現などの個性が成り立ちます。物理・数理学でも基礎となる考え方があり、その上に発展していくものだと考えています。

音楽と学業の両立は大変では?

私はピアノ、オルガンと並行して、9歳からサッカーも続けてきました。学業・音楽・スポーツのすべてを掛け持ちする生活が長かったため、計画を立てて一つ一つを着実にこなしていく力が培われたと思います。それは今回のコンクールでも大いに役立ちました。大学では愛好団体「青山ピアノソサイエティ愛好会」に所属し、仲間から日々刺激を受けています。

今後の目標を教えてください。

卒業を控えているので、4年間の集大成となる卒業研究に全力で取り組みたいと考えています。演奏者としては、今後も聞いてくださる方々の心に残る演奏を続けていきたいですね。

2014年度「Happy くらす作品コンクール」審査結果

本誌第73号(2014年7月発行)でお伝えした2014年度「Happy くらす作品コンクール」。力作ぞろいで苦慮しましたが、次の通り、優秀賞1作品、佳作1作品、学生FDスタッフ特別賞1作品が選ばれました。受賞者の皆さん、おめでとうございます。

入賞したお二人の作品は、下記URLもしくは本学ウェブサイト>大学案内>青山学院大学の取り組み>FD活動>学士課程のFD活動>その他の活動内容>Happy くらす作品コンクール>2014年度入賞作品集からご覧いただくことができます。

http://www.aoyama.ac.jp/outline/effort/fd/undergraduate/pdf/happyclass_2014.pdf

優秀賞

学生FDスタッフ特別賞

「心に残る授業―私と韓国語」

酒井 優清さん
文学部 史学科3年

佳　作

「真のグローバルな教育とはなんだろうか」

木村 匠さん
国際政治経済学部
国際経済学科2年

青山学院創立140周年記念行事 第3回「情報の探索と表現」コンテスト 審査結果

本学と青山学院女子短期大学の図書館が主催した第3回「情報の探索と表現」コンテスト。「日本の知らない世界、世界の知らない日本」をテーマとして、オンラインデータベース〔AFP World Academic Archive、朝日新聞『聞蔵IIビジュアル』、ジャパンナレッジLib、日経BPキジケン〕を使って、「オリジナルの記事」を作るというコンテストで、2014年10月1日(水)～24日(金)に募集を行い、過去最多の総数53作品の応募がありました。今回は学院創立140周年記念行事として理事長賞・院長賞・学長賞も設けられました。

朝日新聞社や日経BP社などのプロをまじえた審査員による選考の結果、大学からは16点の受賞作品が選ばれ、グランプリに輝いたのはグループ応募作品(2人以上で4ページのオリジナル記事を作成する)でした。12月10日(水)に青山キャンパスの大学図書館本館で、12月15日(月)に相模原キャンパスの万代記念図書館で表彰式を行いました。

なお、11月5日(水)～7日(金)にパシフィコ横浜で開催された「第16回図書館総合展/学術情報オープンサミット」ポスターセッションにコンテスト概要と応募作品を掲載したポスターを出展しました。

グランプリ受賞作品(4ページ作品の1枚目)

グランプリ(グループ部門最優秀賞)

和島 健人さん、西原 実代華さん、
髙田 美里さん、荒船 拓土さん　いずれも経済学部 経済学科1年

青山学院創立140周年記念式典開催報告

2014年11月15日(土)、青山学院講堂において、「青山学院創立140周年記念式典」を挙行、シュー土戸ポール学院宗教部長司式のもと、執り行いました。

式では幼稚園児、初等部から大学までの聖歌隊合同による「青山学院の歌」の奉唱、安藤孝四郎理事長の挨拶、梅津順一院長の式辞の後、国内外の来賓の方々より祝辞を賜り、また校友でIAMSCU創立理事である山田賢二郎氏から梅津院長に感謝状が手渡されました。

その後、参会者一同による「青山学院校歌」合唱の後、来賓のジェラルド・ロード博士による祝祷、聖歌隊によるアーメン七唱、仙波憲一大学学長による挨拶、後奏をもって、式典は終了しました。

青山学院創立140周年記念講演会
「宇宙からのメッセージ ～夢に向かって、諦めず挑戦～」

山崎 直子さん

Profile
宇宙飛行士。東京大学工学部航空学科卒業、同大学大学院航空宇宙工学専攻修士課程修了。2010年スペースシャトル「ディスカバリー号」で宇宙へ。国際宇宙ステーション(ISS)の組立補給ミッションに従事。現在は内閣府宇宙政策委員会委員などを務める。

片岡 史憲さん

Profile
トヨタ自動車(株)製品企画室主査。本学理工学部機械工学科卒業。日本企業4社の共同プロジェクトで開発された、宇宙飛行士のコミュニケーションパートナーとなるロボット「KIROBO」の開発責任者。人とロボットが共生する未来を目指す。

2014年10月27日(月)、青山キャンパスの本多記念国際会議場において、宇宙飛行士の山崎直子氏と、本学理工学部出身で、トヨタ自動車株式会社の製品企画室主査を務める片岡史憲氏による講演会を、本学経済学部出身でフリーアナウンサー森麻季氏の司会のもと開催しました。「宇宙」「夢」「未来」をキーワードにしたこの講演会には、初等部の児童から大学生、大学院生、保護者まで約350名が集まり、相模原キャンパスでも同時中継されました。

はじめに「夢への挑戦状―ロボット宇宙飛行士・KIROBOまでの道―」をテーマにした片岡氏の講演では、国際宇宙ステーションの実験棟「きぼう」に滞在するロボット宇宙飛行士「KIROBO(キロボ)」の仲間、「MIRATA(ミラタ)」も登場。トヨタ自動車が知能化を担当したロボットの第一声に場内は静まり返って注目し、「ボク、ミラタデス、ヨロシクネ」と言葉を発すると大きな拍手が起こりました。

学生時代には失敗や挫折を繰り返し「受験さえ投げやりになった時期もある」という片岡氏。トヨタ自動車では海外生産車種の開発主査として活躍し、一時期マーケティングを担当する子会社に出向した経験から、コミュニケーションの大切さを実感したと言います。「いくら頑張って新しいものを開発しても、人に伝えられなければ何の役にも立たない。車であれ、何であれ、自分が作りたいのは“コミュニケーションパートナー”だと気づいたのです」。そして宇宙飛行士に憧れた幼い頃の情熱を、車から月面車、さらにはロボット宇宙飛行士「KIROBO」の開発へと注いでいきます。「宇宙に挑戦するという夢が、これまでの私の過去に意味を与えてくれました。人生に無駄なことなんて一つもない。想像することから夢も未来も始まるもの。その時、邪魔をするのが固定観念や先入観。夢は未来。そして今のあなたは未来のあなたの作り手。本気の失敗には価値があります。どんなに失敗しても時間がかかっても、自分の未来への道を歩んでください」と力強いメッセージをくださいました。

続いて山崎氏が、「宇宙、人、夢をつなぐ」をテーマに講演。宇宙との出会いから実際に宇宙へ飛び立つまでのさまざまな経緯を語ってくださいました。NASDA(現JAXA:宇宙航空研究開発機構)によって国際宇宙ステーションの宇宙飛行士候補者に選ばれてから、実際のミッションに従事するまで、実に11年を要しました。宇宙飛行士候補者選抜試験には一度失敗したことも明かされました。「医学検査も含めてさまざまな試験がありますが、それができるかできないかというよりも、諦めないで挑戦することが大事。“世の中はどんどん動くもの。現在の常識が10年後にも通用するとは限らない。今の知識だけで満足するのではなく、ずっと学び続けてください”と当時言われたことがとても印象に残っています」。

そして、いざ訓練を開始するも、お子さんを授かったことやスペースシャトル・コロンビア号の事故などによって何度も中断を余儀なくされ、搭乗までの道のりは決して順調ではなかったことや、訓練や勉強を続けながら待機する状況での不安など、率直な気持ちもうかがえました。

「いつ飛べるかわからない。でも悩んでいても、答えはありません。人生一人一人歩むペースが違う。だから私は私自身のペースで進むしかない。世の中にはいろいろなことがある。だからこそ、自分たちで道を作っていくしかないのです」。

今できることに全力を注ぎ、決して諦めず、地道に“その日”までの準備を続けてきた山崎氏の言葉には重みが感じられました。

お二人の講演後、「教育、子どもの未来」「挑戦」をテーマにトークセッションが行われ、山崎氏は「自分の目で見る、知る、体験が大切です。大人になっても夢を持ち続けてください」、片岡氏は「挑戦することが成長につながる。自分で何がしたいのか、道を見つけてください」とメッセージを残しました。

トークセッションの後は、来場者から多く質問の手が盛んに挙がり、盛況のうちに幕を閉じました。

AGU Lecture 074

国際社会における法の支配

阿部 達也
国際政治経済学部 国際政治学科 准教授

国際社会を規律するルールである国際法には、国際的な問題に対する基本的な考え方がぎっしり詰まっています。そのため、国際法の学習は本学部のいずれのコースにも求められると思います。本ゼミナール（ゼミ）「国際社会における法の支配」は、本学部で唯一の法学系のゼミとして、法的思考を学ぶ機会を提供するものです。授業では「パレスチナの壁事件」、「プレア・ビヘア寺院事件」、「南極捕鯨事件」といった国際裁判の重要な判例を取り上げ、徹底的に議論しています。このゼミを第1希望に選択した学習意欲の高い学生が集まっていることもあり、国際法についての理解は着実に深まっています。前期に比べると議論は幅広くなり、その内容はとても充実してきました。

化学兵器禁止機関（OPCW）―2013年にノーベル平和賞を受賞しました―等の勤務を経て、学生には「社会に出たときに必要とされる能力を身に付けてもらいたい」と思うようになりました。具体的には、物事を論理的に考える論理的思考力、他者の意見を批判的に分析する批判的分析能力、自分の意見を外に向けて発信する情報発信能力の3つです。これらの能力を高めるべく、ゼミでは「プレゼンテーション」と「文章作成」に力を入れています。いずれも、どれだけ相手を説得できるかにかかわるものです。

プレゼンテーションについては、1つの判例を2人が別々に発表する形式にしています。同じ判例でも人によって読み方や興味、関心が異なるので、お互いから学ぶことは多いと思います。授業で用いたパワーポイントはフォローアップのメールを通じてゼミ生の間で共有しています。文章作成については、限られた文字数の中で、要点をいかにわかりやすくまとめるかがポイントになります。前期から数をこなしてきたこともあって、学生たちの能力はかなり上がってきたと感じています。

国際法を学ぶ上で大切なことは、「なぜか」を考えることだと思っています。たとえ答えが出なくても構いません、考えることで理解は深まるはずです。人と意見が分かれたときも、なぜ異なってしまったのかを考えることによって、さらに先に進むことができます。これは国際法に限ったことではなく、物事に対する基本的な姿勢といえるのではないでしょうか。より一般的なことですが、学生の皆さんは、どうしたら人間性を磨くことができるのかを考え、そして実際に行動してほしいと思います。そのような姿勢は、社会に出てから必ず生かされるはずです。

阿部ゼミ学生
座間 顕一さん
国際政治経済学部
国際政治学科3年
横浜隼人高等学校出身

高校の頃から国際問題や国際法に関心がありこの学部を選び、2年次に阿部先生の国際法の授業を選択してからさらに興味がわき、このゼミに入りました。

ゼミでは、判例について担当のゼミ生が詳しく説明し、判決の論点を発表してから全員で議論します。私の場合は判例を「ああ、そうなのか」とすんなり納得しがちで、阿部先生やほかのゼミ生から「こういう捉え方もある」と指摘をうけ、初めて気づくことが多々あります。自分から発信すること、人の意見を聞くことの大切さを学びました。判例もすらすらとまではいかなくても読めるようになってきましたし、国際法が関係するニュースは気をつけて見るようになりました。

また、阿部先生は国際法だけでなく実務も教えてくださいます。そのおかげで、パワーポイントを作成する力が付きました。最初は正しく伝わるか不安で、あれもこれもと書き込んでしまっていましたが、今では伝えるべきことを選べるようになってきました。

ゼミで学んでいるうちに、将来は国際機関で働きたいと思う気持ちが生まれました。国際社会や国際政治を国際法という視点から見る面白さを、もっとたくさんの学生に知ってもらいたいです。ゼミ生が増えれば今以上に議論も活発になるので、国際法に興味のある学生はぜひ阿部先生のゼミを選択し、一緒に学べればと思います。

Information

2014年度 青山学院学術賞

「青山学院学術賞」は、専門分野の研究において学術の進展に寄与すると認められる業績を発表した青山学院の専任教員に授与される賞です。2014年度は大学では以下の5名が受賞しました。

■ **文学部 英米文学科　佐野 弘子 教授**
翻訳　ジョン・ミルトン著『劇詩　闘士サムソン』
（思潮社 2011.12）

■ **経済学部 経済学科　髙嶋 修一 准教授**
『都市近郊の耕地整理と地域社会』
（日本経済評論社 2013.2）

■ **国際政治経済学部 国際政治学科　阿部 達也 准教授**
『大量破壊兵器と国際法―国家と国際監視機関の協働を通じた現代的国際法実現プロセス―』
（東信堂 2011.2）

■ **総合文化政策学部 総合文化政策学科　黒石 いずみ 教授**
Constructing the Colonized Land : Entwined Perspectives of East Asia around WWII
（Ashgate Publishing Limited 2014.3）

■ **理工学部 物理・数理学科　松川 宏 教授**
摩擦の物理の解析的研究

卒業・進級および成績に関する日程（学部）

今年度末から2015年度初頭にかけての主な日程をお知らせします。詳細は学生ポータルを確認するようにしてください。

日付	内容	備考
3月11日（水）10時30分	卒業決定者発表	
3月11日（水）13時30分	進級決定者発表	進級条件が設定されている学年のみ
	卒業見込可能者発表	理工学部・社会情報学部3年次生のみ
3月11日（水）10時30分～	成績通知書開示（4年次生）	・卒業決定者は3月25日（水）まで閲覧できます。 ・学外PCから閲覧する場合は、あらかじめ学内でSecureMatrixパスワードの登録を済ませておく必要があります。詳細は、学生ポータルメニュー「学外から成績通知書を閲覧する手順」を参照してください。この手続きが完了していない場合、学外から閲覧できませんので、注意してください。
3月11日（水）13時30分～	成績通知書開示（1～3年次生）	
3月11日（水）	保証人宛成績通知書発送	卒業決定者を除きます。
3月25日（水）	学位授与式（卒業式）	
4月2日（木）	履修登録開始	所属キャンパスおよび第一部／第二部により、登録締切日および締切時間が異なります。

※大学院の日程は上記に準じます。ただし専門職大学院の日程は異なりますので、学生ポータルを参照してください。

2014年度 学位授与式・卒業礼拝

2014年度学部卒業生および大学院修了生を対象として、下記の通り「学位授与式」、「卒業礼拝」を挙行します。所属の学部・研究科によって時間が異なりますのでご注意ください。3月の卒業発表後、保証人の方（専門職大学院は除く）宛にご案内状を郵送いたします。

【学　部】　2015年3月25日（水）　青山学院記念館（大学体育館）
（午前の部）　10時30分 開式（9時30分開場）
対象学部：経済学部、経済学部第二部、
法学部、経営学部、経営学部第二部、
国際政治経済学部

（午後の部）　13時30分 開式（12時45分開場）
対象学部：文学部、文学部第二部、教育人間科学部、
総合文化政策学部、理工学部、社会情報学部

【大学院】　2015年3月25日（水）　青山学院講堂
16時 開式（15時15分開場）
対象研究科：全研究科

【卒業礼拝】　2015年3月25日（水）　ガウチャー記念礼拝堂
9時～10時
説教：伊藤 悟 大学宗教部長　※参加自由

春期休業期間中の窓口案内　対象期間 2015年2月4日（水）～3月31日（火）

○ 詳細は本学ウェブサイトでご確認ください。
○ 下記の日程は入学試験日のため、青山キャンパスへの入構が制限されます。
本学学生は西門・東門からの入構とし、入構時に警備員に、用件を告げ、認められる事由の場合のみ学生証を提示して入構することができます。
2月6日（金）、2月7日（土）、2月10日（火）、2月11日（水）、2月13日（金）、2月14日（土）、2月15日（日）、2月18日（水）、2月19日（木）、2月21日（土）

http://www.aoyama.ac.jp/life/clericalwork/

Information

2015年度 学事暦(学部)

年度初頭のオリエンテーション、履修ガイダンス、健康診断は各学部・学科ごとに行います。
日時・場所の詳細は学生ポータルにて配信しますので、必ず確認してください。

前期

4/1(水)	入学式
4/1(水)～6(月)	オリエンテーション、履修ガイダンス、健康診断＊
4/7(火)	前期授業開始
4/7(火)～13(月)	新入生歓迎礼拝(青山・相模原キャンパス)
4/15(水)	相模原キャンパス所属学生 履修登録最終日
4/16(木)	青山キャンパス所属学生 履修登録最終日
4/29(水)	授業実施日(昭和の日)
5/25(月)	ジョン・ウェスレー回心記念日礼拝(青山・相模原キャンパス)
	ペンテコステ礼拝(青山・相模原キャンパス)
5/25(月)～ 29(金)	チャペル・ウィーク(前期)
6/13(土)	アドバイザー・グループ・デー(青山・相模原キャンパスとも授業実施)
7/20(月)	授業実施日(海の日)
7/23(木)	月曜日の授業を実施(青山・相模原キャンパスとも)
7/24(金)～7/31(金)	前期定期試験期間
8/1(土)～9/16(水)	夏期休業期間
8/3(月)～5(水)	清里サマー・カレッジ
9/26(土)	9月学位授与式

※ 青字は、宗教行事です。
※ **大学院・専門職大学院の学事暦は一部異なります。本学ウェブサイトや『大学院要項』等を参照してください。**
＊ 健康診断は青山キャンパス4/1(水)～6(月)、相模原キャンパス4/2(木)～6(月)(ただし4/5(日)を除く)に実施します。

後期

9/17(木)	後期授業開始
9/21(月)	授業実施日(敬老の日)
10/10(土)～11(日)	相模原祭期間(10(土)は相模原キャンパスのみ休講)
10/12(月)	授業実施日(体育の日)
10/19(月)～23(金)	チャペル・ウィーク(後期)
10/30(金)～11/1(日)	青山祭期間(青山・相模原キャンパスとも休講)
10/31(土)	宗教改革記念日
11/2(月)	授業休講(青山・相模原キャンパスとも)
11/16(月)	創立記念礼拝(青山・相模原キャンパス)
	授業実施日(創立記念日)
11/27(金)	クリスマス・ツリー点火祭
12/15(火)	クリスマス礼拝(青山キャンパス)
12/17(木)	クリスマス礼拝(相模原キャンパス)
12/24(木)～2016年1/4(月)	冬期休業期間
1/5(火)	後期授業再開
1/14(木)	月曜日の授業を実施(青山・相模原キャンパスとも)
1/15(金)～17(日)	大学入試センター試験および同準備日
	(15(金)、16(土)は実施キャンパスのみ休講)
1/21(木)	補講日(青山キャンパス)
1/21(木)～22(金)	補講日(相模原キャンパス)
1/26(火)～2/2(火)	後期定期試験期間
3/26(土)	学位授与式
	卒業礼拝

進路・就職関係のお知らせ

1～3月の進路支援行事

青山キャンパス

行事名	対象学年	日　程
公務員ガイダンス・試験対策プレ講座	学部1・2年生	1月8日
体育会学生のための就職ガイダンス	体育会学生3年生・院1年生	1月8日
4年生学内企業説明会・選考会	学部4年生・院2年生	1月9日、2月4日
就活ボランティア活動(内定者相談会)	学部3年生・院1年生	1月5日、13日、22日
仕事研究セミナー「面接官の本音」v.1,v.2	全学年	1月8日、19日
Web Ash説明会　実践編	学部3年生・院1年生	1月15日
働く前に知っておこう!(企業選びと労働法)	学部3年生・院1年生	1月20日
3年生学内企業説明会	学部3年生・院1年生	3月2日～20日

相模原キャンパス

行事名	対象学年	日　程
教員志望者フォローアップ～先輩との相談会～	教員志望者	1月14日
求人票から探る!会社の姿	全学年	1月16日
公務員試験制度説明会	公務員志望者	1月19日
フォローアップシリーズ(自己分析から面接対策まで)	学部3年生・院1年生	2月5日、9日、18日、23日
本番前夜ガイダンス	学部3年生・院1年生	2月27日
学内企業セミナー	学部3年生・院1年生	3月2日～6日

※各種行事は追加・変更の可能性がありますので、詳細は「Web Ash」等にて必ず確認してください。

青山キャンパスの個別相談について

進路・就職センター(青山キャンパス)では、待ち時間を少なくするため、平日12:40以降の個別相談を当日予約制としています。相談希望当日に、事務室受付にて予約してください。予約は9:30から受け付けます(電話での予約および予約状況の照会は行いません)。なお、午前の部(月～金/9:30～11:30、土/9:30～12:00)は予約不要です。

予約ラウンド(月～金)
相談開始時刻(相談時間は、原則30分です)

予約①	12:40～
予約②	13:30～
予約③	14:20～
予約④	15:10～
予約⑤	16:00～
予約⑥	16:50～
予約⑦	17:40～

○相談開始時刻を10分過ぎても来室しない場合には、キャンセル待ちの方を優先とします。
○相談員の指名は、卒業年次生(学部4年生、大学院2年生)のみ可能です。

※進路・就職課(相模原キャンパス)での個別相談は開室時間中随時受け付けます。

卒業・修了の決まった皆さんへ　卒業・修了後の進路報告について

学長　仙波 憲一 ／ 就職部長　懸田 豊

青山学院大学では、皆さんに卒業・修了後の進路を報告していただいています。就職、進学、現職の継続、留学、各種試験受験準備などの報告を、卒業・修了の決定した学部4年生と満期退学を含む修了予定の大学院生・専門職大学院生全員に提出していただきます。

報告いただいた内容は、進路状況のデータをまとめた「卒業生進路状況報告書」として学内で利用されます。個人の氏名や就職先が学外に公表されることは決してありません。また、官公庁などへの統計資料としても必要となりますので、必ず報告してください。

民間企業や公務員・教員などに内定された方には、「入社試験報告書」を提出していただいております。この報告書は、後輩の就職活動に大変役立っておりますので、併せて提出をお願いいたします。

皆さんのこれからの活躍を、こころからお祈りいたします。

進路届の提出先　青山キャンパス…「Web Ash」で入力、進路・就職センターへ「進路届」を提出　**相模原キャンパス**…「Web Ash」で入力、相模原事務部進路・就職課へ「進路届」を提出

2015年度 学費納付のご案内(学部・大学院)

2015年度在学生の学費(授業料、在籍基本料、施設設備料、教育活動料および諸会費、学会費)は下記の通りです。前期・後期とも期限に遅れないように納付してください。

納付のスケジュール

振込依頼書発送　4/10(金)予定
前期分・前後期一括分学費納入期限　4/30(木)
後期分学費納入期限　9/30(水)

納付にあたって

■振込依頼書は、前期分・後期分・前後期分一括納入の3種類を送付します。教職課程・諸資格課程料の加算などによって後期分の納入金額が変更となる場合を除き、改めて送付しませんので、4月に送付する振込依頼書を保管の上、振込手続きをお願いいたします。
■振込依頼書は、申し出がない限り、原則として保証人宛に送付します。学生本人宛に送付先変更を希望する場合は、学生生活部学費・奨学金課(青山キャンパス)・学生生活課(相模原キャンパス)に「学費振込用紙送付先変更届」を提出してください。
■入金確認のため、大学より送付する振込依頼書を用いて、金融機関窓口で納付してください。ただし、ATM・インターネットバンキングの利用を希望される場合は、同封の案内文に記載されている注意書きに従って手続きしてください。なお、振込手続きの際、公的機関発行の身分証明書等の提示が必要となる場合があります。詳細は各金融機関窓口にお尋ねください。
■最終年次において留年した場合、履修登録単位数によって学費が異なります。履修登録後に学費を算出するため、振込依頼書の発送および納入期限は下表の通り予定しております。

	前　期		後　期	
	発送予定	納入期限	発送予定	納入期限
学 部 生	5/18(月)	6/2(火)	10/16(金)	11/10(火)
大学院生	5/25(月)	6/10(水)	10/23(金)	11/10(火)

■本学では、銀行と特別に提携した有利な条件の「教育ローン」があります。詳細は、本誌第76号(3月下旬発行予定)に掲載します。

相談・問い合わせ先

各種申請は、在学生の方が直接窓口へ来るようにしてください。個人情報取り扱いなどの関係上、電話では承れません。春期休業期間中(2/4(水)～3/31(火))の窓口開室日時は本学ウェブサイトをご覧ください。

[学部]

①	保証人住所の変更 在学生住所の変更	青山キャンパス　学生生活部 学生生活課(03-3409-7835) 相模原キャンパス　学生生活課(042-759-6004)
②	振込依頼書の 送付先変更・再発行 学費の延納・分納	青山キャンパス　学生生活部 学費・奨学金課(03-3409-7945) 相模原キャンパス　学生生活課(042-759-6004)
③	休学・退学	青山キャンパス　学務部 教務課(03-3409-7830) 相模原キャンパス　学務課(042-759-6003)
④	振込手続、学費一覧表	財務部 資金課(03-3409-6479)

[大学院]

①	保証人住所の変更 在学生住所の変更	青山キャンパス　学生生活部 学生生活課(03-3409-7835) 相模原キャンパス　学生生活課(042-759-6004)
②	振込依頼書の 送付先変更・再発行 学費の延納・分納	青山キャンパス　学生生活部 学費・奨学金課(03-3409-7945) 相模原キャンパス　学生生活課(042-759-6004)
③	休学・退学	青山キャンパス　**大学院生**　学務部教務課(03-3409-7830) **専門職大学院生** 学務部専門職大学院教務課(03-3409-8025) 相模原キャンパス　学務課(042-759-6003)
④	振込手続、学費一覧表	財務部 資金課(03-3409-6479)

[学部]　2015年度 学費一覧表(入学年度別)

単位：円

学部・学科＼年度	2014年度入学生(新2年生)		2013年度入学生(新3年生)		2012年度入学生(新4年生)	
	前期	後期	前期	後期	前期	後期
英米文学科	675,700	391,500	665,700	391,500	665,700	391,500
フランス文学科	667,000	391,500	667,000	391,500	667,000	391,500
日本文学科	676,500	391,500	666,500	391,500	666,500	391,500
史学科	677,500	391,500	677,500	391,500	677,500	391,500
比較芸術学科	677,500	391,500	677,500	391,500	677,500	391,500
教育学科	671,500	391,500	671,500	391,500	671,500	391,500
心理学科	698,000	391,500	698,000	391,500	698,000	391,500
経済学部	677,500	391,500	677,500	391,500	677,500	391,500
法学部	677,500	391,500	677,500	391,500	677,500	391,500
経営学部	678,500	391,500	678,500	391,500	678,500	391,500
国際政治経済学部	698,500	391,500	688,500	391,500	688,500	391,500
総合文化政策学部	698,500	391,500	698,500	391,500	698,500	391,500
理工学部	988,500	565,500	988,500	565,500	988,500	565,500
社会情報学部	841,500	478,500	841,500	478,500	841,500	478,500

※休学・留年・編入学・転部・転学部・転学科・再入学等をした場合の学費は異なる場合があります。

[大学院]　2015年度 学費一覧表(入学年度別)

単位：円

研究科・専攻＼年度		2015年度入学生(新入生)		2014年度入学生(新2年生)	
		前期	後期	前期	後期
英米文学専攻(博士前期・後期)		627,700	257,500	322,700	257,500
フランス文学・語学専攻(博士前期・後期)		629,000	257,500	324,000	257,500
日本文学・日本語専攻(博士前期・後期)		628,500	257,500	323,500	257,500
史学専攻(博士前期・後期)		629,500	257,500	324,500	257,500
比較芸術学専攻(博士前期・後期)		629,500	257,500	324,500	257,500
教育学専攻(博士前期・後期)		628,500	257,500	323,500	257,500
心理学専攻(博士前期・後期)		666,000	257,500	361,000	257,500
経済学研究科(博士前期・後期)		645,500	257,500	340,500	257,500
私法専攻・公法専攻(博士前期・後期)		629,500	257,500	324,500	257,500
ビジネス法務専攻(修士2年制・博士後期)		719,500	257,500	414,500	257,500
経営学研究科(博士前期・後期)		646,500	257,500	341,500	257,500
国際政治経済学研究科(修士・博士後期)		770,500	257,500	465,500	257,500
総合文化政策学研究科	(修士2年制)	770,500	257,500	465,500	257,500
	(一貫制博士)	670,500	257,500	365,500	257,500
理工学研究科	(博士前期)	865,000	373,000	560,000	373,000
	(博士後期)	779,500	257,500	474,500	257,500
社会情報学研究科	(博士前期)	803,000	315,000	498,000	315,000
	(博士後期)	745,500	257,500	440,500	257,500
国際マネジメント研究科	(専門職)	991,000	378,000	686,000	378,000
	(一貫制博士)	770,500	257,500	465,500	257,500
法務研究科(専門職)		1,013,000	500,000	708,000	500,000
会計プロフェッション研究科	(専門職)	1,113,000	600,000	808,000	600,000
	(博士後期)	700,500	257,500	395,500	257,500

※一部の研究科・専攻では3年制を実施していますが、本欄では2年制の学費を掲載しています。

創立140周年を迎えたいま～伝統の140年から飛躍の150年に向かって

青山学院は創立140周年を迎えました。青山学院は幼稚園から大学・大学院までを擁する総合学園として、150周年に向けてさらなる飛躍を遂げてまいります。この度、保証人の皆様方に「青山学院エバーグリーン募金」パンフレットをお送りしてご協力のお願いをするに当り、ご挨拶を申し上げます。

皆様方におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。平素より青山学院の教育研究活動にご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。

青山学院は去る11月16日をもって創立140周年を迎えました。本学院のこれまでの歴史を振り返りますと、米国のメソジスト監督教会をはじめ、多くの宣教師・校友・保護者・保証人・教職員の努力と支えにより、学院の歴史が形成されてきました。私共はこの節目の時に先達の働きに感謝すると共に、在校生が世界に一つしかないこの学び舎で神様の愛に守られ、一人一人に与えられた賜物を育んでほしいと願い、創立150周年に向けて新たなヴィジョンを掲げ、さらなる飛躍を遂げる所存です。

今日の社会は知識や情報技術を基盤に急速にグローバル化が進み、教育を取り巻く環境も刻々と変化しておりますが、青山学院の教育の原点は変わることなく、自分に与えられた使命を見出し、人と社会とに対する責任を進んで果たす人、他者を敬い違いを受け入れる心を持った人、その生き方が他者の模範となり未来を切り拓いていく人、そのような「真の国際人」を育成し輩出していきたいと考えております。

青山学院が21世紀に人類の希望となる次世代を育成していくために、現在、①維持協力会募金、②奨学金募金、③使途指定型募金の3つの募金活動を行っております。

ご承知の通り欧米の大学では潤沢な基金を有する私学が多数存在し、それが優れた教育研究や奨学金の整備を可能にしておりますが、顧みて日本の大学では潤沢な基金を有するとは言い難く、青山学院でも在校生・保証人・卒業生や社会の期待・要請により一層応えていくには財政基盤の確立が不可欠と考え、1992年に維持協力会を設立しました。

また、2004年には給付型奨学金制度として「青山学院スカラーシップ」を設け、前途有望な学生が経済的理由から勉学の道が閉ざされることのないよう、奨学金制度の充実に努めております。

さらに、2014年からは新たに使途指定型募金を開始し、青山学院の教育研究や学生の諸活動を“オール青山”で支援する募金活動を展開しております。

保証人の皆様には既に「教育振興資金」のお願いをしているところであり大変恐縮ではございますが、青山学院エバーグリーン募金の趣旨とその意義にご理解とご協力を賜りたくお願い申し上げます。

皆様のご支援は、学院と在校生にとりましては経済面はもちろんのこと、精神的な意味におきましても大きな支えと励ましになっております。

末筆ながら、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

学校法人 青山学院　理事長　安藤 孝四郎
院　長　梅津 順一
青山学院大学　学　長　仙波 憲一

大学陸上競技部(長距離ブロック)へのご支援のお願い

この度の箱根駅伝初優勝を祝い、さらなる活躍を期待して、彼らの活動をご支援ください。本年3月31日(火)までに青山学院エバーグリーン募金「使途指定型募金④スポーツ活動支援」より「大学陸上競技部(長距離ブロック)」を指定して5,000円以上ご寄付くださいました方には、監督・選手サイン入りのペナントと写真カードをお贈りいたします。ぜひこの機会にご検討くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

資料請求 問い合わせ先

青山学院エバーグリーン募金推進本部
TEL：03-3409-6208　FAX：03-3409-3890
Mail：bokin@aoyamagakuin.jp
http://www.aoyamagakuin.jp/support/index.html

≫インターネットからのご寄付も可能です。
青山学院　募金　検索

Club & Circle 25 箏・尺八研究会

自由に楽しく和楽器に取り組み、古曲の趣を堪能できます。

毎週土曜日、箏・三味線の師範と尺八の師範にお越しいただき、青山キャンパス7号館の和室で稽古を受けています。平日は各々が個人練習に励んでいます。

箏・尺八研究会は50年以上の歴史があり、今年度、52回目の定期演奏会を行いました。今回は曲目の構成を変えたり、レベルの高い曲を演奏したりするなど、新しい試みにも挑戦。本番に向けて練習日を増やし、当日まで熱心に取り組みました。その甲斐あって、演奏会後には非常に大きな達成感を味わうことができました。

このほか、学内のチャペルコンサートに毎年参加したり、昨年度からは、外部施設やイベントでのボランティア演奏も始めました。また、関東学生三曲連盟という団体にも所属しており、今年度は各大学の2年生が参加する新人演奏会を本学ガウチャー・メモリアル・ホールで開催し、その運営にも携わりました。

和楽器は格式が高いと思われがちですが、箏・尺八研究会には自由に楽しく和楽器と向き合える雰囲気があるので、「和楽器にちょっとだけ興味がある」という方にもぴったりです。また、邦楽の古曲の良さが理解できることも魅力。私も初めは派手な現代風の曲に惹かれ入部しましたが、今ではすっかり、静かで趣のある古曲の虜になってしまいました。(前会長：経済学部　経済学科3年　井上　夕里花　記)

AGU NEWSについて

青山学院大学では、大学広報誌「AGU NEWS」を発行し、在学生の保証人の方々へ送付しています。また、在学生を対象としてキャンパス内専用スタンドにて配布しています。

●バックナンバーは、本学ウェブサイトでご覧いただけます。
●確実に保証人の方々へお届けするため、住所が変更になった場合は、学生ポータルを利用し、**学生本人が変更手続きをしてください。**

PRINTED WITH SOY INK
発行元：青山学院大学 入学広報部
TEL.03-3409-8627

本誌掲載の記事、写真、図版などの無断転載・複製を禁じます©2015青山学院大学

●2015年1月31日発行●

©報知新聞社

大声援を受け
フレッシュグリーンが躍動
史上初の快挙を達成！

第91回 東京箱根間往復大学駅伝競走

新記録ラッシュで完全優勝!

2015年1月2日（金）・3日（土）に開催された「第91回東京箱根間往復大学駅伝競走」で、大学陸上競技部（長距離ブロック）が歴史的な快挙を達成しました。
2日に行われた往路では、5時間23分58秒という驚異的な記録で他校を圧倒。2位に4分59秒の差をつけ、本学史上初の往路優勝を果たしました。さらに、3日の復路でも攻めの走りを展開し、5時間25分29秒で5区間を走破。復路優勝とともに、総合優勝にも輝きました。10区間中5区間で区間賞を獲得。4区では区間新記録をマークするなど、多くの記録を更新する大会となりました。

2015年1月2日(金)・3日(土)

第91回 東京箱根間往復大学駅伝競走

選手全員が一丸となってつかんだ圧倒的勝利

第85回大会で33年振りに箱根駅伝に出場してから7年目、総合成績は過去3年で5位、8位、5位と着実に結果を積み重ね、迎えた2015年。第91回東京箱根間往復大学駅伝競走（箱根駅伝）において、青山学院大学は、20回目の出場で初の総合優勝を成し遂げました。

1区から優勝争いを演じ、2区、3区と良い流れを保って迎えた4区。区間新記録の走りで総合2位へ再び順位を上げ往路の最終区へ。46秒の差をあっさりとひっくり返し、2位に4分59秒の差をつける“3代目山の神”の走りで往路を制覇。翌日の復路では、7、8、9区で連続区間賞、6区、10区も区間2位となる“攻めの走り”で圧倒。総合成績では2位に10分以上の大差をつけ優勝に輝きました。箱根駅伝の2カ月前に行われた全日本大学駅伝対校選手権大会で本学史上最高位の3位に入ったこともあり、期待も注目度も高かった本大会。“ワクワク大作戦”の先にあったのは熱い声援に応え力走する選手による感動のドラマでした。

たくさんのご声援ありがとうございました。

往路：大手町～箱根・芦ノ湖　107.5㎞　5時間23分58秒　1位
復路：箱根・芦ノ湖～大手町　109.6㎞　5時間25分29秒　1位

総合：10時間49分27秒　1位

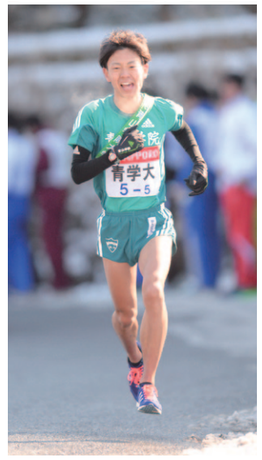
往路 1区 大手町～鶴見 21.3㎞
久保田 和真 選手
教育人間科学部3年
1時間02分01秒（区間2位）
良い流れを作るために攻めの気持ちで走りました。1秒でもリードしてつなぎたかったのですが、果たせず悔しいです。来年は区間賞を取りたいと思います。

2区 鶴見～戸塚 23.1㎞
一色 恭志 選手
経営学部2年
1時間07分45秒（区間3位）
花の2区を自分のペースで走ることができました。役割を果たせ、納得のいくレースができました。来期は、三冠を目標に頑張っていきます。

3区 戸塚～平塚 21.4㎞
渡邉 利典 選手
文学部3年
1時間03分29秒（区間5位）
初めての箱根でしたが、落ち着いてマイペースで走れました。トップと2分差以内なら、なんとかしてくれるメンバーが控えていたので安心できました。

4区 平塚～小田原 18.5㎞
田村 和希 選手　区間新　区間賞
経営学部1年
54分28秒（区間1位）
走るからには区間賞をと考えてレースに臨みましたが、区間新記録でそれを達成でき、とてもうれしいです。声援が大きな力になり、とても楽しく走れました。

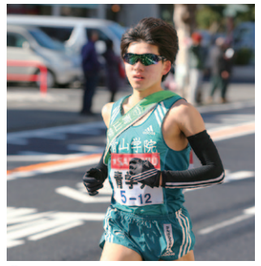
5区 小田原～箱根 23.2㎞
神野 大地 選手　区間賞
総合文化政策学部3年
1時間16分15秒（区間1位）
想像以上に体が動き、うまく走れました。タイムには自分が一番驚いています。苦しいときもありましたが、皆さんの応援が足を前に進めてくれました。



復路 6区 箱根～小田原 20.8㎞
村井 駿 選手
理工学部3年
59分11秒（区間2位）
前回の雪辱を果たすべく1年間努力し、区間2位となりました。多くの方の支援・応援のおかげで「箱根の借りは箱根で、山下りの借りは山下りで」返すことができました。

7区 小田原～平塚 21.3㎞
小椋 裕介 選手　区間賞
社会情報学部3年
1時間02分40秒（区間1位）
「復路新記録をマークして総合優勝」を復路メンバーで誓って挑みました。3年連続の7区で100%の力を出せ、総合優勝に貢献できて本当にうれしいです。

8区 平塚～戸塚 21.4㎞
髙橋 宗司 選手　区間賞
教育人間科学部4年
1時間05分31秒（区間1位）
チームを引っ張ってきた自負と覚悟で最高の結果を出せました。2年前はつらかった上り坂が今年は楽しく感じられ、2度目の区間賞が取れました。



9区 戸塚～鶴見 23.1㎞
藤川 拓也 選手　区間賞
国際政治経済学部4年
1時間08分04秒（区間1位）
復路でも結果が出せてうれしいです。ケガで走れませんでしたが、給水係を務めてくれた川崎と並走でき、走っている最中は楽しいのひと言に尽きました。

10区 鶴見～大手町 23.0㎞
安藤 悠哉 選手
教育人間科学部2年
1時間10分03秒（区間2位）
初めての箱根で緊張もありましたが、9人が作ってくれた流れに乗って、楽しく走れました。初優勝のゴールテープを切れたことが本当にうれしいです。

2014年11月2日(日)

秩父宮賜杯第46回 全日本大学駅伝対校選手権大会

ベストメンバーで臨み、総合6位から3位へ大躍進!

「大学三大駅伝」の一つに数えられる全日本大学駅伝対校選手権大会。シード校として出場した2014年、優勝を目標に熱田神宮から伊勢神宮までの8区間106.8kmのレースに挑みました。レース序盤から上位争いを展開し、5区から8区の4区間で青学記録を更新。前年の記録を4分以上短縮する5時間17分24秒で、過去最高位となる3位でゴール。箱根駅伝に向けて弾みをつける結果となりました。

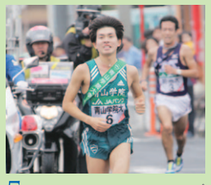
熱田神宮西門前～伊勢神宮内宮宇治橋前　106.8km
5時間17分24秒　3位

1区 14.6㎞
一色 恭志 選手
経営学部2年
43分46秒（区間6位）

2区 13.2㎞
久保田 和真 選手
教育人間科学部3年
38分36秒（区間3位）

3区 9.5㎞
秋山 雄飛 選手
国際政治経済学部2年
27分55秒（区間6位）

4区 14.0㎞
小椋 裕介 選手
社会情報学部3年
42分18秒（区間8位）



5区 11.6㎞
藤川 拓也 選手
国際政治経済学部4年
34分15秒（区間3位）

6区 12.3㎞
川崎 友輝 選手　区間賞
総合文化政策学部4年
35分56秒（区間1位）

7区 11.9㎞
渡邉 心 選手
教育人間科学部3年
35分53秒（区間8位）

8区 19.7㎞
神野 大地 選手
総合文化政策学部3年
58分45秒（区間3位）

「第91回箱根駅伝優勝報告会」を開催

2015年1月8日（木）、青山キャンパス ガウチャー記念礼拝堂前において、大学陸上競技部（長距離ブロック）「第91回箱根駅伝優勝報告会」を行いました。原晋監督による優勝報告の後、出場した一人一人の選手からのあいさつ、内山義英陸上競技部部長より感謝の言葉が述べられました。

最後に、神野大地新主将から「明るく、楽しく、挑戦者としての気持ちを忘れずに、三冠（出雲・全日本・箱根優勝）目指して頑張りたいと思います」とこれからの決意が語られました。

たくさんのご声援ありがとうございました。

原 晋 監督

今回の優勝は、強化指定部としてスタートした2004年から、各年のキャプテンを中心とした4年生が“今できること”を半歩ずつ積み重ね、進化し続けた結果です。そうした歴史の上に今のチームがあります。第91回箱根駅伝では、1区の久保田が2区以降の選手たちに元気と勇気を与えるレースができ、勝利のラインができました。青山学院大学のランナーは皆美しいフォームの走りをしていたと思います。これはコア（体幹）トレーニングの成果でしょう。効率良く走れ、ケガもしにくく、スピードも出るようになりました。ただ、今の箱根駅伝は部活動の一環としての枠組みだけでは勝ち得ないレースになっています。選手たちの努力はもちろんですが、大学に関わる方々や組織、校友の方々の力が必要です。それが結果として、全国の“チーム青山学院”の心を一つにしてくれるのではないでしょうか。連覇は特に意識せず、これからも頑張っていきますので、変わらぬご声援をよろしくお願いいたします。

藤川 拓也 主将

2日間にわたり応援していただきありがとうございました。苦しいときやつらいときに名前を呼んでもらえたり、旗を振って応援してくださる姿が見えたりして、それがとても力になりました。この1年間、キャプテンとしてうまくいかないことや自分自身のケガで走れないこともありましたが、4年生を中心にまとまり、支えてくれたことで何とかやってこられました。監督がいつもおっしゃっていますが、これまで数多くのOBの方々が積み重ねてきたことがあり、そして、私たちを応援、サポートしてくださる方々がいたからこそ、5人が区間賞を獲得し、往路、復路での優勝と、2位に10分以上の差をつけての総合優勝という最高の結果が得られたのだと思います。今回の箱根駅伝で走った4年生は2人で、ほとんどのメンバーが残ります。来シーズンは私たちが達成できなかった三冠を成し遂げてくれると信じています。これまで以上の熱い応援をよろしくお願いいたします。

陸上競技部（長距離ブロック）ウェブサイト　http://aogaku-tf.org/
発行元：青山学院大学 入学広報部　TEL.03-3409-8627